



全国中学生人権作文コンテスト～福岡県大会で優秀賞を受賞～

人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動として、中学生を対象に「全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会」(主催:福岡法務局、福岡県人権擁護委員連合会)が実施されました。

市内の中学生の応募の中から8名がうきは市賞に入賞し、うち1名が福岡県優秀賞に、1名が久留米協議会賞を受賞されました。

受賞者は以下のとおりです。中学生の皆さん、受賞おめでとうございます。



受賞された浮羽中学校の生徒の皆さん
(前列中央が福岡県優秀賞を受賞した吉山さん)



受賞された吉井中学校の生徒の皆さん
(前列右端が久留米協議会賞を受賞した古澤さん)

賞区分	氏名	作品名	学校名	学年	備考
うきは市 最優秀賞	吉山 杏	危険な正義感	浮羽中学校	3	福岡県優秀賞
	古澤 つく美	いいクラスとは	吉井中学校	1	久留米協議会賞
うきは市 優秀賞	江田 有依斗	個性を大切に	吉井中学校	1	
	宮崎 珠未	うわさは人を傷つける	吉井中学校	2	
	尾花 彩葉	七十八億の平和	浮羽中学校	1	
うきは市 奨励賞	松岡 華鈴	誰も知らない「裏の顔」	吉井中学校	3	
	中堀 陽菜子	LGBTQについて	吉井中学校	3	
	中垣 如葉	りんごの色	浮羽中学校	2	

江南小6年生租税教室



うきは市では、次の世代を担う小学生や中学生の皆さんに税金への関心を高め、税金の意義や役割を正しく理解してもらうため、市内の税務署などと協力して設置している「租税教育推進協議会」の一員として、税務に携わる市役所の職員が派遣講師となり、「租税教室」を行っています。

授業では、税金の使い道や税金がない世界を描いたアニメを視聴し、最後には講師から「小学校生活でかかるお金は20人で約1億円です。教科書をはじめ遊具や道具は税金で準備をしているので、大切に使うてください」と伝え、1億円の重み(約10キロ)を感じてもらいました。

「税金のはなし」の感想 江南小学校6年 柳 明日華さん

私は、租税教室を受けて、税金がとても大切だということがわかりました。正直、消費税など値段が高くなるだけだからはいらないと思っていたけれど、税金がない生活を見て、いかに大切かがわかりました。物を大切にする、人のことを思う、税金にかんしんをもつということを心に留めてこれから生活していきたいです。

まちな話



NHK防災情報活用術



12月18日（土）、白壁ホールにて、『NHK防災情報活用術』を開催いたしました。この催しは、「水害から命を守る」キャンペーンとして、NHK福岡放送局と連携し開催したものです。講師にNHK・総合で夕方に放送している「ロクいち！福岡」のお天気コーナーでおなじみの、吉竹顕彰氏をお招きし、気象データをもとに、災害から身を守るための情報の活用などを紹介いただきました。講演の中では、近年の豪雨災害の特徴や、気象庁が発表する情報に慣れることの重要性などについて解説がなされました。

市内小・中学校へ寄贈いただきました



公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会久留米支部から、新型コロナウイルス感染拡大防止に対してお役に立てないかとの思いと子ども達の健康を願い非接触型の体温計を18個（各学校2個）寄贈いただきました。

長年のボランティア活動に感謝状を授与しました



岩佐睦子さん（写真左） 江藤サツキさん（写真右）



お弁当に添えていた手書きのイラストと歌

12月13日、ボランティアグループ「あいの会」で長年にわたり精力的にボランティア活動に参加され、その活動の推進に寄与されたため、岩佐睦子さんと江藤サツキさんにうきは市から感謝状が授与されました。

お二人は平成2年に浮羽町赤十字老人看護奉仕団「あいの会」を立ち上げ、老人ホームへのお手伝いや75歳以上の独居の方への声掛け訪問活動等を継続して行っていました。また、白鳥の家の入所者の人たちと「ふれあい食事会」を開催し、手作りの折詰弁当と一緒に手書きのイラストと季節の歌を書いたものを渡して、一緒に歌うなど新たな活動も始めていただきました。

江藤さんは昨年10月で退会されましたが、「あいの会」はコロナ禍の現在も個人的なボランティアを出来る範囲で活動を行っています。